

東川口はいきものばかり

コース上で遭遇できるいきものを集めました。レッツ路上観察!



A-1 東川口駅南口



B-1 駐車場の堀



B-1 戸塚中台公園



B-1 駐車場の堀



B-1 戸塚中台公園



C-1 本行寺



B-1 戸塚中台公園



B-1 西光院



B-1 戸塚中台公園



お寺、追い出されちゃいました

川口市周辺 アクセス図



川口市経済部産業振興課

T332-8601 川口青木2-1-1

電話: 048-259-9018 FAX: 048-258-1161

戸塚・綾瀬川コース



「なにコレー!!」続出 フシギいっぱいのおさんぽルート

市北部の中心として脚光を浴び、景観の整った新興住宅地として着実に発展している東川口アリ亞。落ち着いた街並みですが、実は市内でもここだけ、というスポットがたくさん隠れているのです。古くからあるお寺も、妖怪を出入り禁止していたり。新興住宅地といいながら、弥生時代から人が住んでいた跡が見つかったり。どの場所も個性的なのに、どこなくのどかな雰囲気が漂います。芝生が気持ちいい戸塚中台公園を散策するのも、綾瀬川でバードウォッチングに興じるのもおすすめ。珍しくて心地よい東川口を見つけに行ってみませんか。

さいこういん B-1 西光院

天正元年(1573年)、創建(せいげん)されています。武州川口七福神の弁財天や、ぼっくり薬師がまつられています。江戸・寛永年間に栄え、徳川将軍の日光社参の折、ここで何度も小休止をとったという記録が残っています。



とづかなかだい B-1 戸塚中台公園

高台にある公園。芝生の広場と、昔からの自然林が随所に残り、緑の保全に重点が置かれています。「昆虫の広場」には昆虫をかたどった木製遊具や、鋳物製のカブトムシなどが置かれています。



でんう B-3 伝右川

市境近くを南に流れ、東京・足立区で綾瀬川に注ぐ用排水路。江戸時代の寛永5年(1628年)に綾瀬川流域の新田開発のため、関東都代伊奈忠治の家臣、船津伝右衛門により開かれたといわれています。



とづかしもだい C-1 戸塚下台公園

自然林を生かした上下2段構えの公園です。上の広場には小さな子ども用の遊具。下の広場には健康遊具が充実しています。広場の間は木の階段や遊歩道で移動することができるので、お散歩にもおすすめです。



オンリーワンが目白押し 東川口・駅から探訪

大きな円盤の 珍しいオブジェ

東川口駅北ロータリーには、トンネル開通作業のために用いられたシールドマシンのカッターヘッドのレプリカが展示されています。

鉄道ファンにとっては、貴重なスポットとなっています。



A-1 東川口駅北ロータリー

ななさと B-1 七郷神社

もとは地域の氏神の氷川神社でしたが、明治40年(1907年)に当時の戸塚村内の神社7か所を合祀したことから、この名がつきました。神社の裏手からは遺跡が発掘され、弥生時代後期の住居跡10件と弥生式土器、縄文時代の安行式土器などが見つかっています。



とうふくじ C-2 東福寺

真言宗の寺院で、創建は承応3年(1654年)ごろといわれています。その昔は寺子屋として庶民の学問の場となり、本堂は、開校当初の戸塚小学校として用いられました。境内は、密教の曼陀羅を立体化したかのように、多数の仏像が安置されています。



あやせ B-3 綾瀬川

桶川市付近を源とする一級河川。名前の由来は、定まらない川筋が布地の「綾」に似ていたからとする説と、「あやしの川」が変化したとする説があります。江戸時代中期に開かれた舟運は、昭和30年代まで使われました。



とづか C-2 戸塚はさみ第二公園

SR戸塚安行駅から徒歩5分の街区公園です。周辺は地元有志の活動により緑と人が調和した地区となっています。園内には複合遊具の他、多目的広場、休養施設が設置してあるので、ひと休みしてはいかがでしょうか。



地図を頼りに探してみよう!
東川口はほかにも見どころ
満載です



盆栽仕立ての街路樹

東川口駅南口のロータリーからまっすぐ伸びる、広い通りの街路樹にご注目。両側に盆栽のように刈り込まれたクロガネモチが並んでいます。枝葉を整えることで、風通しや採光がよくなるとのこと。安行植木の技が生かされています。

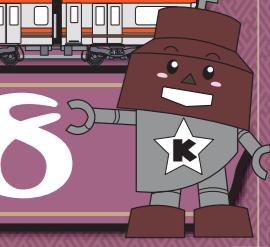


B-1 クロガネモチの並木

オンリーワンが目白押し
歩けば深い住宅街

戸塚・綾瀬川 コース

No.8



川口市マスコット「きゅほらん」

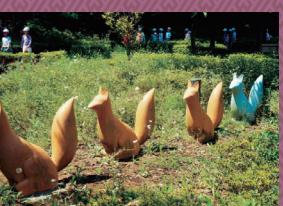
川口市内観光 ルートマップ



A-1 東川口駅南口



B-1 西光院



C-1 戸塚下台公園



C-1 戸塚下台公園